

平成24年度課題解決支援講座(久保泉公民館)市町・アバンセ共同企画

地域力UP応援講座～“えひめあやめ”と共存するまちづくり～

佐賀県立生涯学習センターでは、県内の市町が抱える地域課題の解決に向けて取り組む講座を、市町と共同して各地域(伊万里市教育委員会・佐賀市立久保泉公民館・勸興公民館・兵庫公民館・循誘公民館)で開催しています。

今回は、一足先に講座を終えた「佐賀市立久保泉公民館(以下 久保泉公民館)」での課題解決支援講座の様子をお伝えします。

地域力UP応援講座
～“えひめあやめ”と共存するまちづくり～

久保泉公民館では、地域の課題を「地域活動の後継者の育成」と捉えて、住民のみなさんが「まちづくり」に関心を持つ“きっかけ”となるような講座を企画しようと公民館の館長や主事の方と打ち合わせを重ねました。

そして…出来上がった講座が、「地域力UP応援講座～“えひめあやめ”と共存するまちづくり～」です。

講座は、“えひめあやめ”が自生する自然豊かな久保泉(里山)の魅力をまちづくりに活かすためには、どのような視点や活動が重要なかを考え、住民自らの気づきや意欲を持ってもらえるようにと内容を企画しました。

【第1回】 12/1(土) 10:00～12:00	「“えひめあやめ”と自然保護」 講師：上赤 博文さん(西九州大学准教授)
【第2回】 12/8(土) 10:00～12:00	「地域の魅力を活かした活動について考えよう！」 ～里山を通じたまちづくり事例から～ コーディネーター：多良 淳二さん (佐賀県地域づくりネットワーク協議会)
【第3回】 12/15(土) 10:00～12:00	「久保泉の魅力を活かそう！」 ～今後のまちづくりに向け～ コーディネーター：多良 淳二さん

氏名 電話番号

久保泉公民館の呼びかけにより、講座に集まった受講者は、87名(累計) 毎回、30名前後の方に参加していただきました。受講した方の中には、自治会やえひめあやめ保全会の会員、サークル活動をされている方など、実際に何らかの活動をされている方も多く、久保泉のまちづくりに関心のある方に集まっていただきました。

第1回目(12月1日)は、

「“えひめあやめ”と自然保護」というテーマで、西九州大学准教授の上赤(かみあか) 博文さんに、生物多様性保全の観点からご講義いただきました。生物の保護については、「生態系を守る＝生物多様性を守ること＝環境を守ること」が生物の保護には最も重要であるということでした。



第2回目(12月8日)は、

「地域の魅力を活かした活動について考えよう！」～里山を通じたまちづくり事例から～というテーマで、佐賀県地域づくりネットワーク協議会会長の多良 淳二さんにコーディネートをお願いし、2団体に里山での活動を紹介していただきました。

「NPO法人フォレストサポートクラブ」(広島県三原市)

発表者：井手原 孝範さん(理事長)、新居 康男さん(事務局長)

設立当初の目的は、えひめあやめの保護活動でしたが、地元保存会の他にも工業団地の社員達が社会貢献活動として保護活動に取り組み始め、ボランティアの必要がなくなったため、えひめあやめの保護活動から里山の保全活動を通して地域の人や子どもたちに自然と親んでもらう活動へと転換されました。

現在は、学校林を活動拠点とし、PTC活動(保護者と先生と子どもが親睦を深めるための活動)を主に行われ、クラフト教室や清流川遊び、巣箱作り、樹名板の取付など地域の特性を活かした活動などを提供され、子どもの健全育成への取り組みが行われています。



○「NPO法人きびつとの杜」(佐賀県基山町)

発表者:内山 十郎さん(事務局長)

高齢化で十分な維持補修がなされない道や水路の保全整備、休耕地の公園整備と活用等の活動を通して、安らぎ空間の提供、高齢農業者への支援、地域自主防災活動の確立と地域産業の活性化を実現させ、基山町と周辺地域の自然環境保護、農村の発展、地域活性化に貢献することを目的に設立されました。

「きびつとの杜」ブランドの地酒の企画・販売や、耕作放棄地を使った菜種油作り、高齢化で手入れができなくなったミカンの木に里親を募集する制度などで収益を上げ、自立運営をされています。他にも、桜まつりや幼児による竹の子掘り体験なども行われ、地域の特性を活かした活動が行われています。



第3回目(12月15日)は、

「久保泉の魅力を活かそう!」~今後のまちづくりに向けて~というテーマで、ワークショップを行いました。コーディネーターは、第2回に引き続き、多良 淳二さんです。



初めに、多良さんが事務局長を務められている「さざんか塾」(吉野ヶ里町)の活動を紹介していただきました。「さざんか塾」は、ふるさとづくり促進委員会による「住みやすい村づくりを自ら行いませんか」の呼びかけに賛同した12名が集まり発足しました。「住みよい環境づくり」や「食と農の取組」、「イベントへの参加」など、町の10年後、50年後を見据えた上で、「今できること」に取り組んでいます。

自然保護についての学びと3つの団体の活動から、「まちづくり」のイメージが浮かんできたところで、待ちに待ったワークショップです!

今回のワークショップは、4つのグループに分かれて行いました。「地域の魅力、宝」、「地域の課題、問題点」、「解決策、目標」を付箋紙に1つずつ書き出していき、気づきやアイデアを出し切ったら...、次は、それぞれ類似した意見をグループにまとめ、表題をつけていきます。

最後には、グループ全員の意見をまとめて、「活動目標」と「久保泉町は、○○○だったらいいな。」を決め、それぞれのグループに発表してもらい、という流れで進めました。



ワークショップは、初体験の方も多く、初めは、筆が進みませんでしたが、最後には「付箋紙が足らんばい」という声がかつものテーブルから聞こえてきました。腕組みをされていた方も、いつの間にかペンを持たれていました。

それでは、それぞれのグループの「活動目標」と「○○○だったらいいな」をご紹介します。

○グループ名「えひめあやめ塾」

活動目標「えひめあやめの里づくり」

※久保泉町は、**どこの家にもえひめあやめが咲いている**といいな~

○グループ名「山ちゃん」

活動目標「自然・環境を利用した町民の意識高揚」

※この町は、**子どもが集う町**だったらいいな。

○グループ名「きずな」

活動目標「催し物を多く行い、人とのつながりを深める」

※久保泉町に**人や子どもが多くなり、店舗も増え、生活しやすくなれば**いいな~。

●グループ名「えひめちゃん」

活動目標「大人と子どもを交えて地域活動」

※久保泉町は、**大人と子どもを交えて生き生き活動。佐賀市一番!**

3回の講座から、参加者の皆さんは、「久保泉は、よかところ」「ぼってん、〇〇やったら、もっと良か」「自分たちがせんばいかん」という思いを改めて強くもたれたようです。みなさんの今後の活動が楽しみです。

4月には、「えひめあやめまつり」も開催されます。

どうぞ、みなさん、久保泉町へお出かけください👉👈

👉参加者の声

- ・グループごとに意見交換し、久保泉町のみんなの考えがわかった。最後の発表は、とても素晴らしかった。
- ・改めて、久保泉を見直そうと思った。
- ・久保泉という郷里をもっと素晴らしい地域にしていきたい。
- ・この小さな町に大切なものがたくさんあることが分かった。もっと勉強したい。

[←戻る](#)

[↑このページの上へ](#)



アバッセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで

[🚗 アクセス・交通機関のご案内 ▶](#)

[📧 お問い合わせ/ご意見・ご要望 ▶](#)